

## 「労務管理者協議会50周年」



宇治電化学工業株式会社  
執行役員 川村 進一氏

あけましておめでとうございます。今年も当会運営にご協力よろしくお願ひいたします。本年労務管理者協議会は50周年という節目の年となります。会員企業のご担当メンバーの積極的なご参画、事務局の効果的でタイムリーな例会運営のおかげで長きにわたり続けてこられたと思っています。当会の発足は1960-70年代の労働問題が多い時期に研究と研鑽をすべく組織化されたと聞いています。50年の間には大きな紆余曲折がありました。その中で、諸先輩方の研究と研鑽を続けてこられたことに深く感謝申し上げます。

昨年・一昨年はコロナの影響を受け、例会を延期や中止に余儀なくされた回もありました。一方でアフターコロナに向けて大きな経済対策も出てきつつあり社会情勢も大きく変わりつつある中で、様々な労働問題や新たな課題も出てきています。今後も引き続き会員メンバーの皆様と研鑽と研究を重ねてまいります。皆様よろしくお願ひいたします。

50周年という節目を迎えるにあたり、コロナ感染防止対策を考え“周年記念はやれるかどうか、2022年はどんな状況だろうか”と煮え切らない状況がしばらく続き、実行委員会の立ち上げもずるずると遅れてしまい、10月になんとか実行委員会を開催。本来なら新春号で、記念事業やイベント等の告知ができればよかったのですがまだ検討を重ねている状況です。

検討議論する中で、明確になったことは、「現在の会員メンバーが参加したくなる」「無理なく参加できること」です。会員メンバーの多くは会社内では重要なポジションにあり、何日も会社を開けられない事情もありますので、大々的に「海外視察!」(昨今の状況では無理ですが、)などと大風呂敷を広げてみても、結果少数精鋭(?)の参加となっは周年事業としては、いささかさみしい限り。身の丈にあった、あるいは少しの背伸びをする企画をと知恵を出し合いながら練り上げています。(秋口～年末あたりが有力)

【雑感 昨11月末の少し古い話で恐縮。】

私は野球が好きで、高校野球からプロ野球までいろいろとテレビ観戦しています。昨年前半は黄と黒の縞模様一色で盛り上がっていたプロ野球は、最後には黄と黒の縞模様以外による日本シリーズで終わり、締めは四国銀行の都市対抗野球。入場規制はあるようだったが、大音量の応援団も入っていて社会人野球らしいなあと懐かしく思い観ていると、すごく馴染みはいいけどなんか違和感のある音楽に「ん?何?」と思っていました。試合終盤になった時、体に稲妻が走るように音の正体がわかりました。なんと「せられんせられんゆうたろ〜、おばあちゃんがゆうたろ〜」というあの曲。それが軽快なブラスバンドの音で東京ドームにけっこうな音量で流れてたのです。正体がわかってからは、高知のディーブな人しかわからん曲、そこで出してもいいのかと、変に盛り上がってしまいました。銀行らしく手堅い野球の中で、この応援歌を聞いたことに「やるじゃん四国銀行野球部」と思った2021年最後のテレビ野球観戦でした。

